

---

# 九州防災減災分科会 中間報告書

九州SDGs経営推進フォーラム SDGs×防災減災ネットワーキング

2021.9 - 2021.12

## 現在までの活動状況

万が一の災害に備えるために、災害支援団体と災害支援に取り組む企業が知り合い、「九州の災害支援」+「SDGsの推進」に取り組む「SDGs×防災減災 ネットワーキング」を開催。

### 対象者

- ・企業として個人として、九州エリアでの災害支援に関心のある方
- ・災害支援を通じてSDGsの達成に貢献することに関心のある方
- ・企業内でSDGs、CSRや防災などの取り組みに携わる方

#### ■ 分科会活動 第1回目

2021.10.4 (月) 18:30~20:00

・タイトル：SDGs×防災減災 ネットワーキング#1

##### □ 災害支援団体ゲスト

佐賀災害支援プラットフォーム 岩永 清邦 氏

[『コロナ禍における、多様な関係者との災害支援』](#)

##### □ 支援企業ゲスト

カルビー株式会社 二宮 かおる 氏

[『災害被災地における社会貢献活動』](#)



開催方法	オンライン	料金	無料	参加者数	13名
------	-------	----	----	------	-----

#### ■ 分科会活動 第2回目

2021.11.1 (月) 18:30~20:00

・タイトル：SDGs×防災減災 ネットワーキング#2

##### □ 災害支援団体ゲスト

認定 NPO 法人日本レスキュー協会 岡 武 氏

[『日本レスキュー協会の防災減災に関する取組』](#)

##### □ 支援企業ゲスト

アトミジャパン合同会社 新藤 隼人 氏

[『アトミジャパンの支援活動について』](#)



開催方法	オンライン	料金	無料	参加者数	15名
------	-------	----	----	------	-----

## ■ 分科会活動 第3回目

2021.12.6 (月) 18:30~20:00

・タイトル：SDGs×防災減災 ネットワーキング#3

### □ 災害支援団体ゲスト

特定非営利活動法人 YNF 江崎 太郎 氏

[『災害ケースマネジメントとその実践について』](#)

### □ 支援企業ゲスト

株式会社 FunFusion 岡本良三 氏

[『SMS \(ショートメッセージサービス\) による災害時の安否確認』](#)

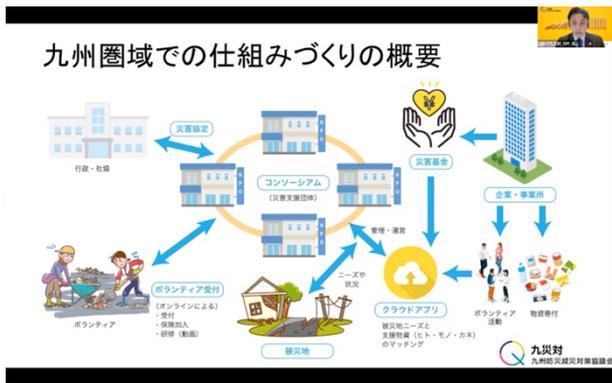


開催方法	オンライン	料金	無料	参加者数	13名
------	-------	----	----	------	-----

## 参加者の声

- 具体的な取り組みで企業さんがどういった支援をしているのわかりました。
- 企業がボランティア団体などどのように協力をすれば、防災・減災の活動に繋がるのか、知ることができた。佐賀地区では域内連携体制がとれておられることが素晴らしいとおもいました。
- 自治体の手が届かない所に対して抜け目ない支援をしていく為にこの様な団体様が存在する事を知れて良かったです。カルビーさんの取組大変勉強になりました。またフットバンク鹿児島さんの現場のご意見も参考になります。
- 企業がボランティア精神や、広報目的のみで活動を継続していくことは難しいと感じるため、平時からマネタイズが成り立つ形での防災・減災の取り組みサイクルを回す必要があるのではないかと考えます。
- 不動産オーナーとして、不動産デベロッパーとしていざと言う時のために備えて欲しいことがあれば教えて欲しい。
- 支援対応をおこなうなかで様々なデータの情報共有をいかに迅速に行うかが、重要だと感じました。弊社 ICT の分野でお手伝いできることがあればと思います。今後も当分科会で勉強させてください。よろしくお願いたします。

## オンラインイベントの様子



九州防災減災分科会 山田健一郎 氏

(本分科会代表団体 九州防災減災対策協議会)

九災対の取り組み・被災地の災害支援の状況を説明。



SDGs × 防災減災 ネットワーキング

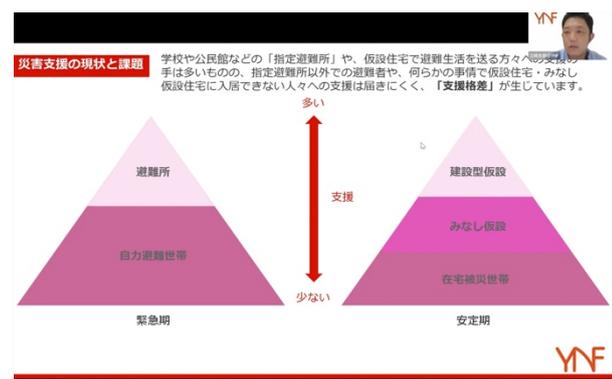
参加者の様子

九州エリアでの災害支援されている団体や個人、企業内で SDGs、CSR や防災などの取り組みに携わる方が交流。

取り組み	重点テーマと主な施策	目標 (KPI)	SDGsとの対応
人・地域社会・コミュニティとのつながりの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>フードコミュニケーションの活性化</li> <li>スタッフスクール (食育) の拡充</li> <li>工場見学の実施、進化</li> <li>地域社会への貢献</li> <li>障害領域での活動拡大</li> <li>「誰か」領域の活動強化</li> </ul>	2024年3月期 ・フードコミュニケーション参加者数累計 (5年累計) 増大	
多様性を尊重した社員活躍の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</li> <li>人材育成の強化</li> <li>働き方改革</li> </ul>	2024年3月期 ・女性管理職比率 30%超 ・男性育児休業利用率 100% ・障がい者雇用率 2.5%	
コミュニケーション・ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレート・ガバナンス組織・体制の整備</li> <li>コンプライアンス・リスク管理の強化</li> <li>ステークホルダーへの人権の尊重</li> </ul>	-	

カルビー株式会社 二宮 かおる 氏

支援企業が被災地で行った支援活動や支援を行う上での課題などを説明。

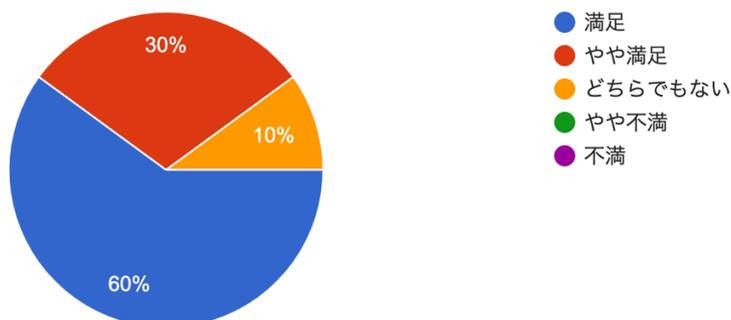


特定非営利活動法人 YNF 江崎 太郎氏

被災地支援活動で起きる法律や支援制度のなど支援格差の問題を説明。

## ■ 分科会活動第1回目 アンケート集計

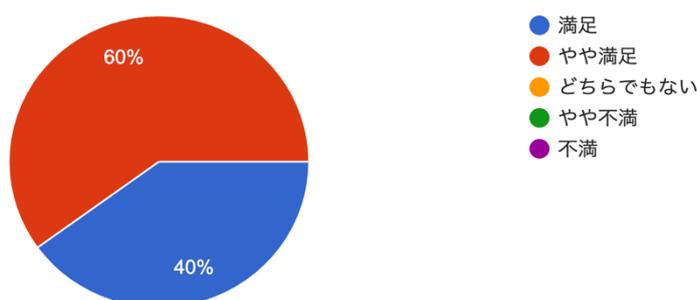
Q1. 災害支援団体（佐賀災害支援プラットフォーム様のご講演）の満足度について教えてください。



Q1-1 上記ご回答の理由を具体的に教えてください。

- ◇ 企業がボランティア団体などどのように協力をすれば、防災・減災の活動に繋がるのか、知ることができた。
- ◇ 福岡は支店経済でもあり、当社も主たる事務所は東京にありながら、情報窓口として福岡支店を構えております。人、モノに限られる中でどのようなことが福岡支店しても考えられるか考えるきっかけを頂いたように思います。
- ◇ 自治体の手が届かない所に対して抜け目ない支援をしていく為にこの様な団体様が存在する事を知れて良かったです。

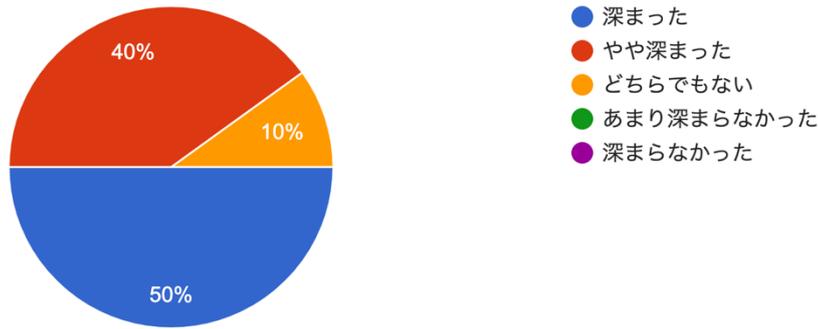
Q2. 支援活動を行う企業（カルビー様のご講演）についての満足度について教えてください。



Q2-1 上記ご回答の理由を具体的に教えてください。

- ◇ 現場判断の重要性とそれを醸成する企業体質の必要性をご教示頂いたように思います。
- ◇ 同じ食品を扱う企業様の取組をお伺い出来まして大変参考になりました。企業の社会的責任、SDGsが企業の末端まで浸透していると感じました。
- ◇ 社全体に、創業者の社会貢献精神が行きわたり、しかも社内分権が進んでいることが印象的でした。

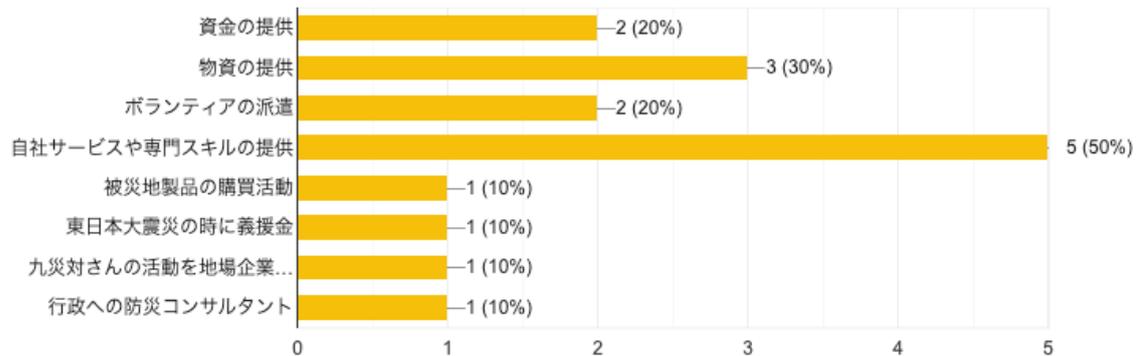
Q3. 災害支援活動に関する理解は深まりましたか？



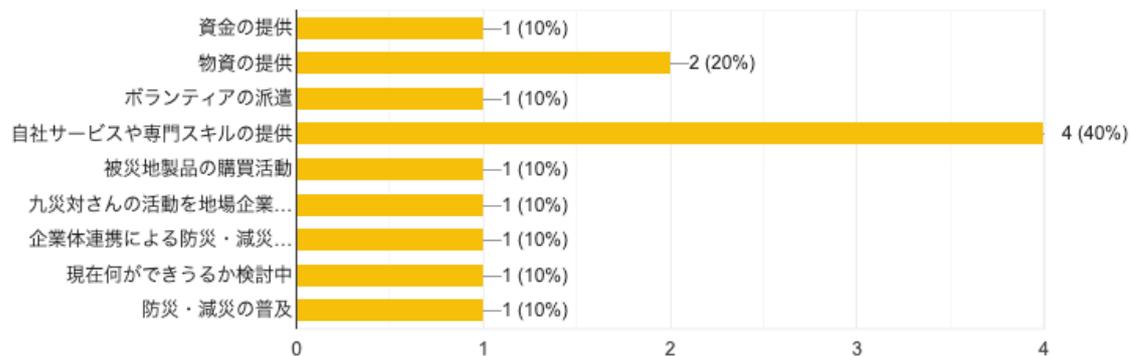
Q4. ご自身に関わっておられる災害支援活動の取り組み状況を教えてください。



Q5. どのような災害支援活動をしていますか。



Q6. 今後、取り組んでみたい、関心のある災害支援活動はございますか？



## ■ 分科会活動第2回目 アンケート集計

Q1. 災害支援団体（認定 NPO 法人日本レスキュー協会様のご講演）の満足度について教えてください。



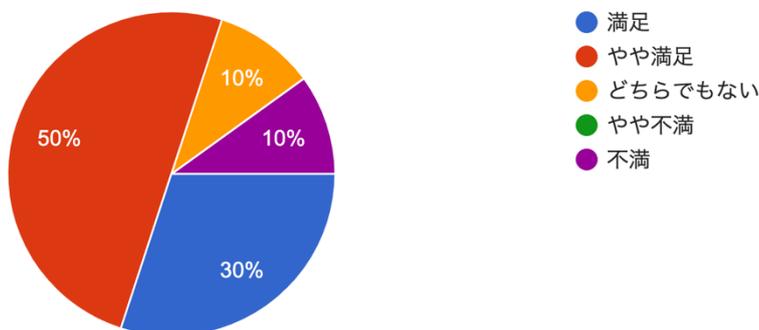
Q1-1 上記ご回答の理由を具体的に教えてください。

- ◇ レスキュー犬派遣のみならず、避難所での同行避難同伴避難の際の支援も行われているとのこと、九州でも同行同伴避難のニーズが高いため、受け入れ施設の拡充と管理などますます期待されますね。また、派遣時の安全確保、移動経路の確認は大変重要だと思います。

弊社技術にも道路状況や河川状況を現地の SNS 投稿や国や自治体発信情報をもとに AI で分析して最適ルートを表示するしくみがありますので行政や団体様と組んで的確な情報収集と発信ができるようになるとよいなと思いました。自治体の手が届かない所に対して抜け目ない支援をしていく為にこの様な団体様が存在する事を知れて良かったです。

- ◇ 救助犬は警察や消防で管理していると思っていたが、そうでないこと、協会の働きが大きいことを知った。

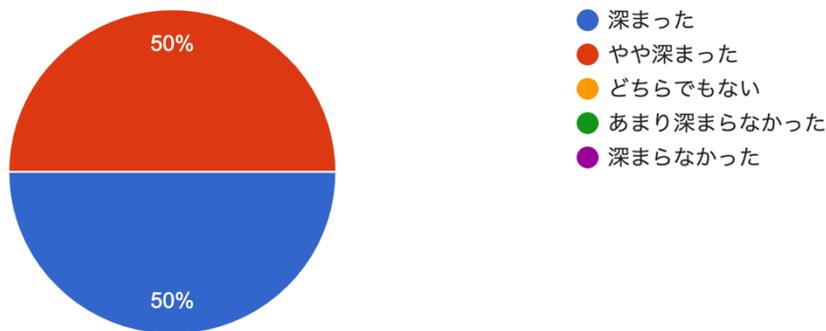
Q2. 支援活動を行う企業（アトミジャパン合同会社様のご講演）についての満足度について教えてください。



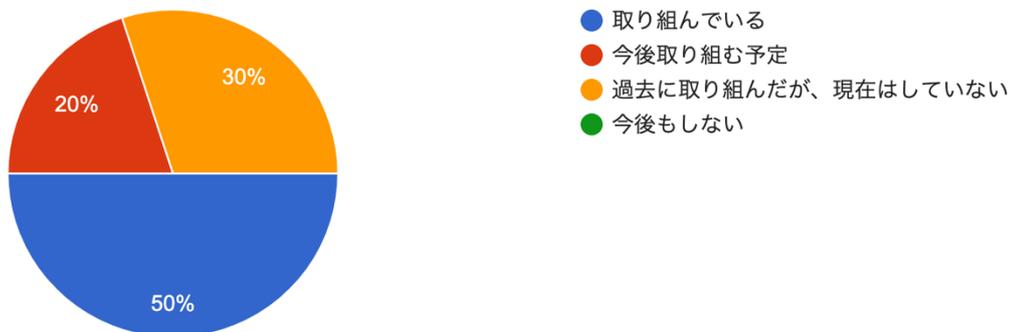
Q2-1 上記ご回答の理由を具体的に教えてください。

◇ 実際に支援活動を体験されて得られた、受け入れ側および支援する側での双方での ToDo 事項をまとめられていた部分がたいへん勉強になりました。支援物資も人員も派遣すればよいだけではないということを、弊社も熊本震災時にも当社も身をもって体感しました。こうした情報を整理し必要な人や団体に迅速に伝えることが ict の得意分野だと思っていますので行政とも連携してよりよい情報共有ができるとういことです。同じ食品を扱う企業様の取組をお伺い出来まして大変参考になりました。

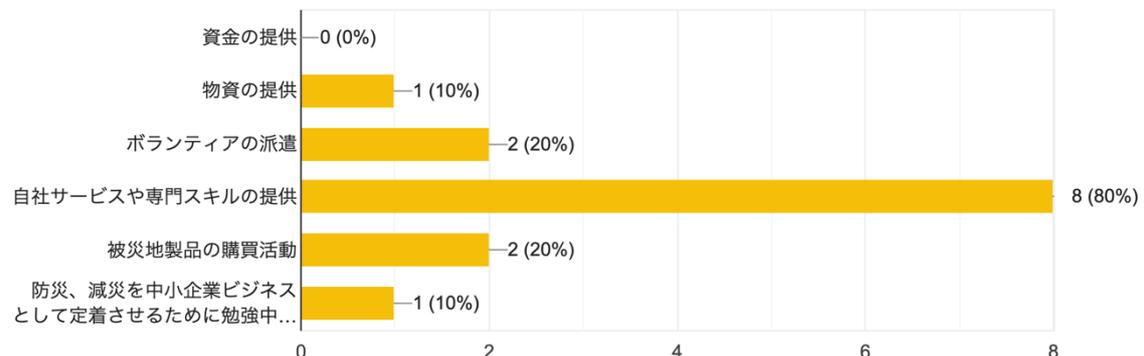
Q3. 災害支援活動に関する理解は深まりましたか？



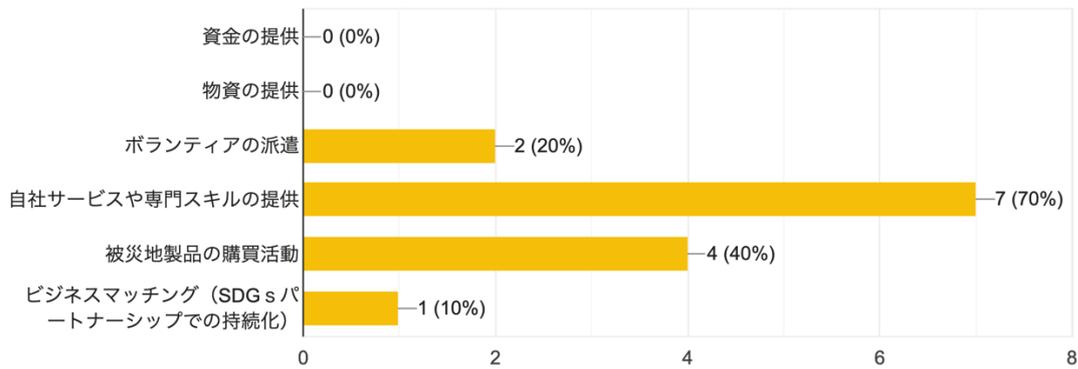
Q4. ご自身に関わっておられる災害支援活動の取り組み状況を教えてください。



Q5. どのような災害支援活動をしていますか。

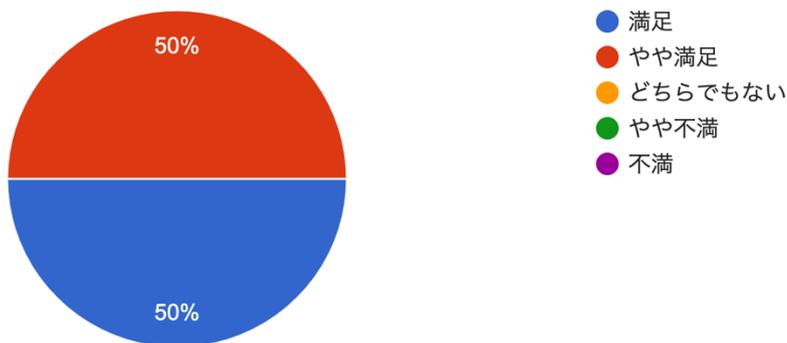


Q6. 今後、取り組んでみたい、関心のある災害支援活動はございますか？

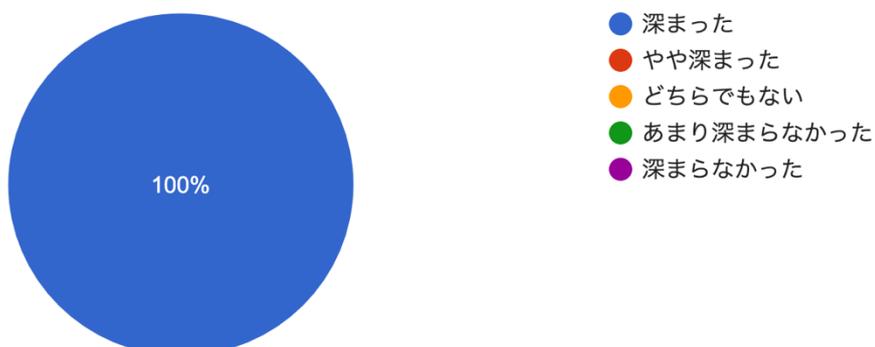


■ 分科会活動第3回目 アンケート集計

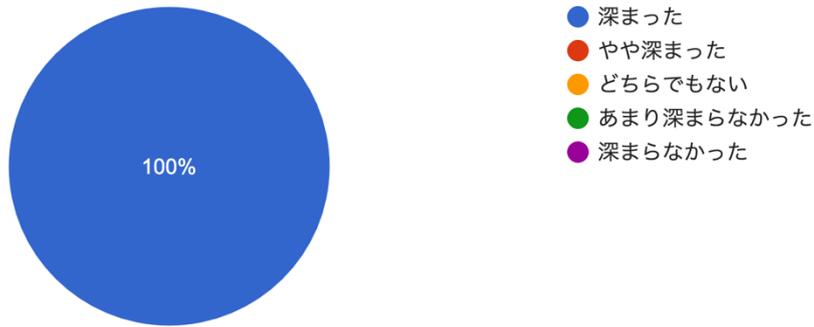
Q1. 災害支援団体（特定非営利活動法人 YNF 様のご講演）の満足度について教えてください。



Q2. 支援活動を行う企業（株式会社 FunFusion 様のご講演）についての満足度について教えてください。



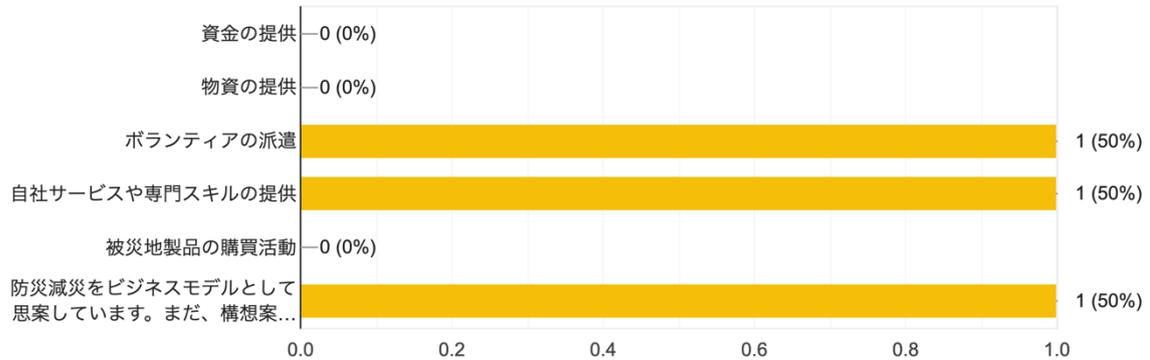
Q3. 災害支援活動に関する理解は深まりましたか？



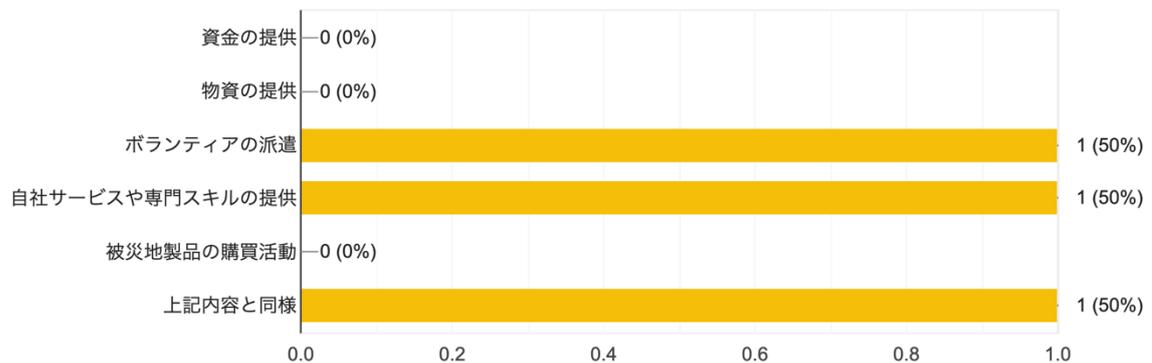
Q4. ご自身に関わっておられる災害支援活動の取り組み状況を教えてください。



Q5. どのような災害支援活動をしていますか。



Q6. 今後、取り組んでみたい、関心のある災害支援活動はございますか？



## 今後の予定

### ■ 分科会活動 第4回目

2022.1.17 (月) 18:30~20:00

・タイトル：SDGs×防災減災 ネットワーキング#4

□ 支援企業ゲスト

株式会社 SC ホールディングス 海部 男 氏

### ■ 分科会活動 第5回目

2022.2.8 (火) 18:30~20:00

・タイトル：SDGs×防災減災 ネットワーキング#5

□ 災害支援団体ゲスト

一般社団法人 BRIDGE KUMAMOTO